

「まちづくりを繋ぐ」

2013 年頭のあいさつ

新しい年を迎えるにあたり、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は、本町にとって3つの大きな節目となる出来事がありました。6月のJR学園都市線の電化開業、9月のレクサンド市との姉妹提携25周年記念事業、そして10月の当別ダム完成です。

それは大都市と連携した利便性の高いまち、国際的な視野に立つまちづくりと人づくり、災害の未然防止と水の確保を意味し、長きに亘ってその必要性が論議され、時代の流れに合わせながらも、現在の形に結実したものです。そこにはこの町の先人、先輩の情熱と努力があった事を忘れてはなりません。

この3つの出来事は、今後においてまちが自立するための大きなパワーに繋がります。農業をはじめとしたこのまちの産業を活かすためにも、皆さんの新しい知恵を結集して、取り組む努力を続ける必要があります。

新しい年が、皆さんの健康と、未来に向けての希望をつなぐ一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



当別町長 泉 幸俊 考



明日を信じて 繋げる、繋がる まちの活動



① 広がる福祉ボランティア (2/1 オープンサロン)

② 住民まちぐるみの植栽 (6/5 当別大通)

③ レックくんが見守るウエディング

(8/24 レクサンド記念公園)

④ 当別町からの義援金に感謝を伝える伊藤康志大崎市長

(3/5 役場議場)



⑤ 九十九祭でのヨサコイ

(6/16 北海道医療大学当別キャンパス)

⑥ ライオンズクラブによる伊達市との民間交流

(8/23 伊達邸別邸)

⑦⑧ レクサンド市との姉妹提携25周年記念事業

(9/7 レクサンド市)

⑨ さわやか駅伝 (9/30 当別大通)

⑩ JR学園都市線電化開業 (6/1 石狩太美駅)